



2024年度茨城県地域気候変動適応センターシンポジウム

気候の危機にどう向き合うか

近年、猛暑や豪雨などの地球温暖化の影響が観測されています。茨城県地域気候変動適応センターと茨城大学は、温暖化研究の第一人者のお一人である東京大学江守正多教授をお招きして、グローバルとローカルの観点で温暖化問題と緩和策・適応策を紹介いたします。また、科学的知見の紹介だけでなく、社会的な問題も議論いたします。学生（文系・理系問わず）、教員、行政、民間企業、一般の方のご参加をお待ちしております。

2024年11月28日（木） 13:30～16:00

**会場：茨城大学 水戸キャンパス(水戸市文京2-1-1)
図書館 ライブラリーホール**

対面・オンライン ハイブリッド開催

講演

江守 正多（東京大学 未来ビジョン研究センター 教授）
気候の危機にどう向き合うか



江守正多先生のご経歴：東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士（学術）。国立環境研究所地球環境研究センター温暖化リスク評価研究室長等を経て、現在は東京大学未来ビジョン研究センター教授。気候変動に関する政府間パネル第5次、第6次評価報告書主執筆者。

若月 泰孝（茨城大学 理学部 准教授）

気候変動適応研究の最前線

小林 敦（茨城県 県民生活環境部 環境政策課）

茨城県における地球温暖化対策（緩和策）について
パネルディスカッション

江守正多・若月泰孝・小林敦・田村誠（茨城大学）・五味孝夫（水戸地方気象台）

司会・進行： 榎田 容子（茨城大学 地球・地域環境共創機構）

参加申し込み

QRコードから、もしくはURLをクリックして、フォームにご記入の上お申し込みください。

会場には人数制限がございますので、対面参加ご希望の方はお早めにお申し込みください。



<https://forms.office.com/r/qJKAFqspqx>

主催：茨城県地域気候変動適応センター、茨城大学

共催：環境研究総合推進費S-18, 気象庁水戸地方気象台

お問合せ： [本ワークショップ問い合わせフォームまで](#)

